

村政を問う 一般質問 9

水資源保全条例制定への動きは
課長会議のあり方の再検討は
監査でも解明できなかった点は
18歳までの医療費補助の検討は
地域おこしに繋がる人材教育は
白馬高校存続の危機について

はろば
白馬
議会だより
103号

平成25年 1月31日発行

第4回定例会 1

議会研修視察実施報告書 6

議決結果 8

私の思い出 16

わたしのひとこと 17



“夢,,はオリンピック選手

(白馬南小学校ジュニアスキークラブ 1月15日)

平成24年
第4回定例会

12月10日から20日まで
11日間

増額を可決!!

* 報告

* 承認

* 一般会計・特別会計予算の議案

* 条例の制定

* 条例の一部改正

* 意見書

* 規約変更、指定管理者の指定

1件
1件
4件
1件
8件
1件
3件

本会議での質疑

このような質疑がありました

議案第52号 平成24年度
白馬村一般会計補正予算
(第5号)

問 (篠崎久美子) 村税延滞
金1000万円の対象
件数は、障害者自立支援対策
特別対策補助金300万円の
対象事業は。

答 (横澤税務課長) 村税延
滞金は件数としての見
込みではなく、11月末現在の
実績で1051件、約869
万円と、滞納整理機構から11

答

月分の延滞金として400万
円ほどの入金予定と、3月ま
での収入を見込んだものです
(横川総務課長) 9月補

正で八方体育館トイレ
の障がい者用への改修工事業
費等が承認されましたが、県費
補助、障害者自立支援対策特
別対策補助金が交付決定され
たため特定財源として計上す
るものです。

問

(太田 修) 村道改良国
庫補助事業で、720
0万円の事業内容は、また、都
市計画基礎調査委託料の20
79万円の事業概要と契約期
間は。

答

(太田建設水道課長) 村
道0105号線の白馬
大橋です。工事概要は、橋面補

答

(丸山環境課長)
5年ごとの都市
計画基礎調査で、内容
は、空中写真デジタル
撮影、都市計画図の修
正、基礎調査です。25
年度に一括で行なう
予定でしたが、今年度
中の発注により県費の対象と
なるため、年度内に発注し、調
査は25年度に行います。

議案第53号 平成24年度
白馬村下水道事業特別会計
補正予算(第1号)

問

(太田 修) 下水道加入
分担金の滞繰分20万円
の減額内容は、共同排水設備
設置事業補助金の100万円
の事業概要は。

答

(太田建設水道課長)
24年度の予算編成時は
滞納繰越額を100万円で見
込んでいましたが、23年度末
に滞納繰越分20万円の入金が
あったため、24年度予算から
減額するものです。
共同排水設備設置等補助金
は、新規のポンプ施設設置が
1件70万円、また3月末まで
に見込まれる修理費対応のた
め30万円を計上しました。



白馬商工会との懇談会

平成24年度
一般会計補正予算
(第5号)

9118万1千円

このような審議がありました

総務社会委員会

村税延滞金徴収額に
1000万円増額補正

●議案第46号

白馬村税条例
の一部を改正
する条例

県の条例改正
を受けて改正す
るもので、村民税
に関する寄付金
税額控除の対象範囲を拡大す
るもの。

▽委員全員の賛成により可決
すべきものと決定。

●議案第47号 白馬村青少
年問題協議会条例の一部
を改正する条例

県の条例改正を受けて改正
するもので、「地方青少年問題
協議会設置法」を「地方青年
問題協議会法」に改めるもの。
▽委員全員の賛成により可決
すべきものと決定。

●議案第48号 白馬村暴力
団排除条例の一部を改正
する条例

国の根拠条文の改正に伴な
う村の条例の改正。
▽委員全員の賛成により可決
すべきものと決定。

●議案第50号 白馬村消防
賞じゅつ金及び殉職者特
別賞じゅつ金条例の一部
を改正する条例

国の法律の改正に伴う村
の条例の改正。
▽委員全員の賛成により可決
すべきものと決定。

●議案第51号 白馬村非常
勤消防団員に係る退職報
償金の支給に関する条例
の一部を改正する条例

国の法律の改正に伴う村
の条例の改正。
▽委員全員の賛成により可決
すべきものと決定。

●議案第52号 平成24年度
白馬村一般会計補正予
算(第5号) 所管事項

各課それぞれ3月までの給

料・職員手当
の精算で11
0万円の増額
と340万円
の減額で、総
額230万円
の減額補正。

総務課関係
では、東日本

大震災時の負
担金としての
地方公務員災

害補償基金と
顧問弁護士等

委託料などに
136万8千

円の増額。耐
震改修事業補

助金が60万円
の減額に、地方交付税が増額

されたため基金繰入を減額。
教育委員会関係では、ス

ノーハープの備品購入にあた

り入札差金として258万円
の減額。白馬北小学校体育館
入口の改修とFFストーブの
修理などに74万7千円の増額。
青鬼地区案内看板等設置の差



白馬・小谷議会議員研修懇談会

額で51万1千円の減額。白馬
南小学校の臨時給食調理員の
賃金と、共同調理場のノロウ
イルスの検査委託料として12

万4千円の増額。

住民福祉課関係では、障害福祉計画策定委員会1回分と要約筆記者などの謝金として11万2千円の増額。しろうま保育園の入口通路の滑り止めゴムチップ舗装と、子育て支援ルームの一時保育士賃金などに6万8千円の増額。

税務課関係では、歳入のみの補正で、実績をみて昨年並みの金額にするため、村たばこ税1000万円の増額。延滞金1000万円の増額。

問 延滞金1000万円の増額の増額の内容は。

答 11月末までの1051件、869万円と、長野県滞納整理機構からの収入があり、実績をみての増額です。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●陳情第7号 耐震診断・耐震改修に関する陳情書

意見

- *村では、小学校・中学校などは耐震改修を行っている。
- *役場庁舎がまだである。
- *昭和56年以降に、建築基準法が厳しくなった。

▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定。

●陳情第10号 オスプレイの普天間基地配備と長野県上空を含む国内低空飛行訓練の中止を求める要請書

●陳情第13号 オスプレイ配備撤回と低空飛行訓練中止を求める意見書提出についての陳情

(陳情第10号と陳情第13号は、内容が同じため一括審査)

意見

- *オスプレイは欠陥機であり、もっともな陳情である。
- *沖縄の人たちの気持ちを考えると、とんでもない。
- *海兵隊の事故は現実には起きているのに観光地として反対することは当然である。
- *日米合意のもとであり、国防・外交を先に考える。
- *自衛隊の説明では、最も安全であると言っていた。
- *国民の安全を守るため必要である。

賛成討論

飛行訓練は自国で行えばよい。

反対討論

国防が第一である。
▽委員少数の賛成により陳情第10号、陳情第13号は不採択と決定。

●陳情第11号 安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書

意見

- *村では、介護職員は常時募集しているが、応募がない。
- *実情などをよく把握して協議するべきである。
- *もう少し現場を知るべきで、結論は出せない。
- ▽委員全員の賛成により継続審査すべきものと決定。

●陳情第12号 安心できる介護保険制度の実現を求める陳情書

意見

- *厚労省の指導により介護時間の単位が60分から45分に短縮され、サービスを受ける方の負担が増えた。

*介護保険料は広域連合で決めているが、将来を見据えた金額にしている。
*国に対する意見書は提出すべきである。

▽委員全員の賛成により一部採択すべきものと決定。



姫川水系直轄砂防50周年記念植樹祭

産業経済委員会

白馬大橋の維持補修に 7200万円

●議案第45号
白馬村水道事業
に係る布設工事
監督者及び水道
技術管理者の資
格基準に関する
条例制定

水道法の改正

に伴い、水道工事布設工事監督者、水道技術管理者の資格を村の条例で定めなければならないもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定

●議案第49号 白馬村公共
下水道条例の一部を改正
する条例

下水道法の改正に伴い、公共下水道の構造に関する技術上の基準、終末処理場の維持管理に関する基準などを、各市町村で条例化しなければならないもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定

●議案第52号 平成24年度
白馬村一般会計補正予算
(第5号)の所管事項

環境課関係では、雑排水収集処理量1割ほど減による処理委託料84万円の減額。粗大ごみの減少などで塵芥処理委託料127万1千円の減額。都市計画基礎調査の空中撮影に798万円、地図の修正に777万円、調査費に504万円ほどの増額。

観光農政課関係では、村土地改良区事業補助金として180万円の増額。森林整備地域活動支援金365万2千円の増額、緩衝帯整備事業負担金56万円の増額、熊の出没が多かったため有害鳥獣駆除委託料30万4千円の増額など。駅前案内所の施設管理委託料30万円の増額、着ぐるみ製作費用不足分80万円の増額など。建設水道課関係では、合併処理浄化槽整備事業補助金に99万4千円の増額。白馬大橋の維持補修に7200万円の増額など。

有害鳥獣の駆除数は。

問

答 11月までに熊7頭、鹿6頭、猪6頭、青サギ56羽などです。

問 駅前案内所委託料とは。

答 2人体制維持のための人件費です。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第53号 平成24年度
白馬村下水道事業特別会
計補正予算(第1号)

受益者負担金還付金として155万9千円の増額、施設管理費80万円の増額、公共下水道建設費186万5千円の増額、臨時職員賃金に76万4千円の増額、共同排水設備設置等補助金100万円の増額(区域外)

問 共同排水設備等補助金とは。

答 自然流入できない施設に上限70万円を補助。

問 受益者負担金還付金の内容は。

答 前納報奨金の過去の支払い漏れが5件と、時効の徴収が2件である。こ

れから3月までに同様な事例が見込まれるので、おおむね70万円ほど補正した。

問 それは時効の精査中に見つかったものか。

答 本人の申し出によるもので、本格的な調査はこれから。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第54号 平成24年度
白馬村農業集落排水事業
特別会計補正予算(第2
号)

施設維持管理費19万円の増額。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第55号 平成24年度
白馬村水道事業会計補正
予算(第1号)

営業外収益では補助金他の会計補助金54万5千円の減額。営業外支出では233万円の増額で、職員手当5万円、浄水場電気料93万円、配水池電気料に90万円など。

問 電気料の動力費が全体的に上がっている

要因は。

答 燃料調整費単価の増が要因と思われる。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●陳情第6号 ライフル射
撃場増設に係るお願い書

意見

問 行政としてどう考えるか。

答 現在、大町総合射撃場運営する大北地区猟友会とで増設について協議中と聞いている。村としても必要と考える。

▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定。

●陳情第8号 最低制限価
格の設定に関する陳情書

▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定。

●陳情第9号 国土交通省
告示第15号の履行に関する
陳情書

▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定。

ごみ処理特別委員会

建設候補地が大町市 源汲地区に決定される

北アルプス広域
連合では、3市村
から推薦のあった
6か所の候補地に
ついて一般廃棄物
処理施設建設予定
地選定会議を11回
開催し、12月21日
に最終決定し、当
委員会では、同日に次の報告
を受けました。

●選定会議の開催経過

平成24年10月 2回開催
現地視察、地域住民からの
意見聴取
平成24年11月 4回開催
絞り込みに必要な情報の説
明・整理、学識経験者から
の助言
振興策の事業主体について
平成24年12月 5回開催
絞り込みに必要な情報、地
域振興策について
建設予定地の選定協議

●選定会議での検討事項

(1) 学識経験者の主な意見
防災、自然環境、埋蔵文化財、
施設整備

(2) 概算費用の試算
(3) 地域振興策

●ごみ処理効率化について の協議

(1) リサイクル施設の設置
新設するリサイクルセン



老朽化が進む「白馬山麓環境施設組合清掃センター」

ターは、白馬山麓清掃セン
ター用地に建設し、現有施
設の解体費用は国の循環型社
会形成推進交付金の活用を検
討する。

(2) ごみ運搬の効率化と経費
削減の検討
市村の収集業務を共同化し、
経費削減と運搬車両数の削減
及び各市村の財政負担の均衡
や住民負担、利便性などの検
討。また、指定ごみ袋、分別
品目の統一化などの早期検討
を確認した。

質問

八方地区への説明は。

答 12月25日を予定してい
ます。

問 25日では遅くないか。

答 すでに電話連絡をし
ており、連休明けとい
うことで遅いとは思いません。
問 予定する稼働開始時期
は。

答 環境アセスメントに1
年かかるなどもあり、
平成28年の稼働予定と思いま
す。

白馬村公共 下水道受益者 負担金問題調 査特別委員会

公共下水道受益者負担金の未収金について、平成23年9月定例会以来、たびたび議会が指摘をしましたが、当初行政からは平成13年度条例改正により債権は保全されているとの答弁がありました。その後、行政側で慎重に内部調査を進めたところ、未収金のうち約1億円が時効であるとの報告がありました。

このことについて白馬村議会としては、たいへん重大な問題と認識し、特別委員会を設置して再発防止のため、原因を調査していくことにしました。

「白馬村公共下水道受益者負担金問題調査特別委員会」は議員全員が委員となり、平成24年7月2日から今年1月22日までの間に10回開催し、今までの経過や状況について行政から説明を受け、事実関係について確認してまいりま

した。委員からの質疑に対しては行政の答弁には不明確な点が多く、その都度再調査をすることもありました。今日までのところおおむねの状況は把握できたと思います。

この間に平成24年8月2日、村長は村監査委員に対して、6月28日提出された村の内部調査報告について検証するよう監査要求し、11月27日、村監査委員よりその監査結果が報告されました。この報告では、村が算出した未収金額の正確さについては明言せず、住民に不公平感を抱かせ、行政への不信を招いたとして、理事者や職員らへの損害賠償請求の検討などを求めました。今後は過去の事実関係、状況調査を確認するため、役場の現職員及び既に役場を退職された方で、下水事業に関係していた課長以上の方を対象に意見を聞くことにしております。

この問題について事実関係を調査し、原因を究明し、二度とこのようなことが起こらないように対策を講じてまいりたいと思います。

議会研修視察実施報告書

研修視察の目的



太地町

①姉妹都市提携をしている和歌山県太地町を敬訪問し、開催中の「太地浦 くじら祭り」に参加して、太地町の議員と交流し親交を深め、また議会活動について情報交換をする。

②三重県多気町にある高校生レストラン「まごの店」を視察し、地域高校のあり方、教育の原点、経済効果、心理的效果、地域づくりについて研修する。

研修視察実施者

- 議会議員 11名

研修視察場所

- 和歌山県太地町「太地浦くじら祭り」

- 三重県多気町 高校生レストラン「まごの店」及び「ふるさと村」

研修視察日程

- 平成24年11月3日（土）
5日（月）

研修視察経費

自己負担	33万3625円
公費	28万1676円
合計	61万5301円

研修視察内容

- 和歌山県太地町「太地浦くじら祭り」

昔から捕鯨で全国的に知られた町であり、日本の古式捕鯨発祥の地といわれ、面積が和歌山県で一番小さく、大正14年に現在の太地町が誕生し、

その後、合併はしていない。人口は約3200人。昭和59年に白馬村と姉妹都市提携している。

毎年11月4日に開催される「太地浦 くじら祭り」イベント会場には出店やステージなどが設置され、住民や観光者などで1000人を超えるにぎわいの中、当村からも「そば打ち同好会」や役場関係者などが毎年祭典に協力している。議員定数は10人（女性はいない）、多選議員がほとんどで活発な議論を重ね活動をしている。



太地浦くじら祭り

● 三重県多気町にある高校

生レ스토랑「まごの店」は、「多気町五桂池ふるさと村」に農産物直売所施設「おばあちゃんの店」の食材を利用した相可（おうか）高校食物調理科の生徒が運営する調理実習施設としてオープン。この実習施設は、相可高校・ふるさと村・多気町の協働で実現、開店以来、「生徒たちのきびきびとした元氣な姿」や「美味しいうどん」などが話題を呼び、多くの方に利用されている。

「まごの店」の影響で、ふるさと村への入場者数も増え、先輩が運営する惣菜とお弁当の店（株）相可フードネット

「せんぱいの店」や「おばあちゃんの店」の売り上げがアップするなど地域活性化にも大いに役立っている。

文部科学省による、高度な先端技術や伝統工芸を取り入れた教育を進める専門学校を支援する「目指せ、スペシャリスト」事業の指定校に、相可高校食物調理科が調理部門に選ばれた。現在の施



三重県多気町 おばあちゃんの店

設は、県内の建築家を目指す高校生への設計コンペで、建築家の意見を交え平成17年2月に新装オープンした。

これらの取り組みで、総務大臣優秀賞など多くの賞を受賞し、平成23年に「高校生レ스토랑」と題して、テレビドラマ化され話題を呼んだ。

地域づくりに情熱を持ち、立ち上げから係わった役場職員「まちの宝創造特命監」岸川政之氏から、コミュニケーションの手法を取り入れた地域おこしや商品開発、生き方、考え方のヒントなどについての説明を受けた。

小布施町視察

平成24年11月28日（水）実施

● 小布施町 街並み修景事業



「地域の特性を生かした街づくり」を進めるべきとの提案に基づき、住民と町が互いに責任を分担し、小布施方式ともいえる町並みの整備が進められている。

表道路沿いの住宅、金融機関などは奥の土地へ移設することで居住環境が整備され、駐車場スペースを確保し、奥路地はオープンガーデンの開放や広場などの空間づくりを行い、店舗内を誰でも通り抜けることができるカフェなどがある。町ぐるみで観光地づくりに取り組み、観光客数は落ち込むことがない。

● 図書館 まちとしよ「テラソ」



「学びの場」「子育ての場」「交流の場」「情報発信の場」の4つの理念のもとに、「交流と創造を楽しむ、文化の拠点」となる総合施設としてオープン。公募による図書館長が採用され、設計・建設から運営方法及びイベント等まで、50人の各委員会で検討するなど、多くの住民意見が反映されている。

町内の商店などから協力を得て開設する「まちじゅう図書館」は現在10か所あり、他に開所希望が10店舗ほどあるなど、住民と観光者との交流の場として活用されている。

● 12 月 定 例 会 議 決 結 果 ●

件 名	議決結果
村道上の事故に係る損害賠償の専決処分報告	報告事項
平成24年度白馬村一般会計補正予算（第4号）の専決処分報告	承認 (全員賛成)
北アルプス広域連合規約の変更	可決 (全員賛成)
長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更	
白馬村水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定	
白馬村税条例の一部を改正する条例	
白馬村青少年問題協議会条例の一部を改正する条例	
白馬村暴力団排除条例の一部を改正する条例	
白馬村公共下水道条例の一部を改正する条例	
白馬村消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例の一部を改正する条例	
白馬村非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部を改正する条例	
平成24年度白馬村一般会計補正予算（第5号）	
平成24年白馬村下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決 (賛成多数) 反対：小林
平成24年度白馬村農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決 (全員賛成)
平成24年度白馬村水道事業会計補正予算（第1号）	
白馬村歴史的古民家（庄屋まるはち）の指定管理者の指定	
安心できる介護保険制度の実現を求める意見書	
白馬村議会委員会条例の一部を改正する条例	
白馬村議会会議規則の一部を改正する規則	

● 陳 情 等 文 書 ●

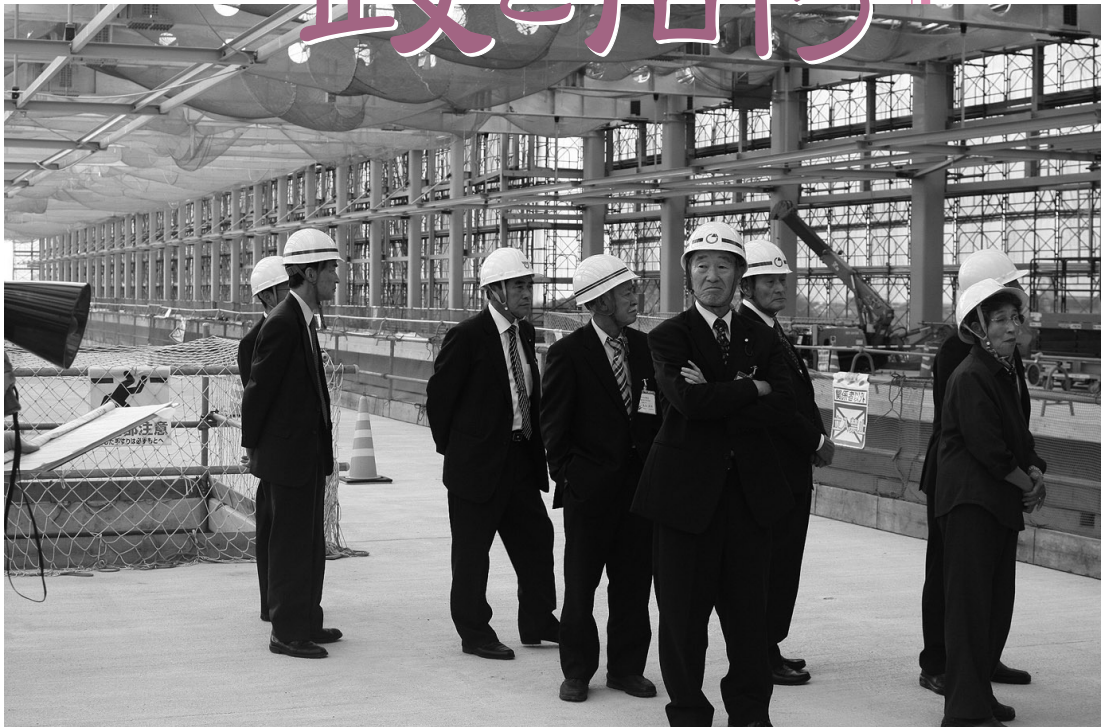
(敬称略)

提出者	住所	要 旨	付託委員会	審査結果
大北地区猟友会 会長 山口智也	大町市	ライフル射撃場増設に係るお願い書	産業経済	採択 (全員賛成)
長野県建築士事務所協会 会長 池田修平 同 大北支部 支部長 荒山行雄	長野市 大町市	耐震診断・耐震改修に関する陳情書	総務社会	採択 (全員賛成)
長野県建築士事務所協会 会長 池田修平 同 大北支部 支部長 荒山行雄	長野市 大町市	最低制限価格の設定に関する陳情書	産業経済	採択 (全員賛成)
長野県建築士事務所協会 会長 池田修平 同 大北支部 支部長 荒山行雄	長野市 大町市	国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書	産業経済	採択 (全員賛成)
大北地区労働組合会議 議長 井沢公一 社会民主党大北総支部 代表 伊藤晃二	大町市	オスプレイの普天間基地配備と長野県上空を含む国内低空飛行訓練の中止を求める要請書	総務社会	不採択 (賛成少数) 賛成：小林
長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子	長野市	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	総務社会	継続審査 (賛成少数) 賛成：小林
長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子	長野市	安心できる介護保険制度の実現を求める陳情書	総務社会	一部採択 (全員賛成)
第19回ピースイン大北 実行委員長 山極 巖	小谷村	オスプレイ配備撤回と低空飛行訓練中止を求める意見書提出についての陳情	総務社会	不採択 (賛成少数) 賛成：小林

一般質問 (紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

村政を問う

安全で活力ある
村づくりをめざして



新幹線「糸魚川駅」工事視察



クロスロード白馬里山塾 収穫祭

水資源問題

問 水資源保全条例制定への動きは

答 県条例制定とリンクして早期対応



高橋 賢一 議員

【水源地保全と

条例整備について】

問 水資源と地下水保全条例制定について長野県の動きは。

村長 県では水資源保全条例の制定を目指し、各市町村単位の連絡を密にして素案を作成し、パブリックコメントを募集しています。条例の骨子は、国土法や森林法の届出が事後届出であったのに対し、水源域の土地取引に対する事前届出制を盛り込みたいとする点です。

問 環境保全や景観形成に関する施策の基本条例

として、白馬村環境基本条例があるが、民有林の所有権移転や土地売買の権利制限はできないとしている。水源地周辺の私有地にあつては、土地所有者がこの条例のもとで住民協定によって水源地保全はできないものか。

村長 今後は、県の目指す条例とリンクさせながら、保全地域の指定、何らかの協定の締結、地下水利用の方向性なども考慮しながら、それらを担保する白馬村環境基本条例の改正、単独の水資源保全条例の制定も視野に入れつつ、25年度中に制定したいと考えています。

【地域公共交通活性化再生総合事業について】

問 デマンド型乗合タクシー事業とシャトルバス事業は、前年度で国庫補助制度が終了し、4月から本格

運行が開始されたが、費用負担は。

村長 デマンド型乗合タクシー事業については、運賃を300円として据置き、費用負担は原則として村費で賄い、経費については特別交付税の対象となることから、財源を考慮しながら事業促進をまいります。



デマンドタクシー「白馬ふれ愛号」

観光交通シャトルバス事業（定時定路線型）については、運行ルートが特定のエリアに限られることから、受益者負担や協賛金を財源とし、経費の一部を村費負担にすることとして今冬の運行を計画しました。運賃は、本年度から村内各地1乗車200円に減額しています。

【「庄屋まるはち」の土地売却と今後について】

問 白馬村に寄附採納され、歴史的旧民家として修景された建造物「庄屋まるはち」の土地が第三者に売却されたそうですが、その経過と今後については。

村長 土地所有者との覚書で納又は売買契約を締結することになっていましたが、村とは売買単価の折り合いがつかず、第三者に売却されたと聞いています。今後の土地賃借料については、所有者が変更になっても、年間固定資産税額相当分での契約と考えています。

行政問題

問 課長会議のあり方の再検討は

答 縦割りを見直し活性化に努める



松沢 貞一 議員

【課長会議のあり方について】

問 予算編成方針はどのように検討し、決定しているか。その際、村の進むべき方向の検討はされているか。

村長 編成作業の中で重点事業などは、各課から提案し、ヒアリングを経て最終的に課長会議で決定します。村の進むべき方向性は、第4次総合計画にのっとり、基本構想、基本計画、実施計画をもとに課長会議で協議し、最終的には村長が決定しています。

問 決算はどのように検証し、決定しているか。

村長 課長会議で協議した決算書や主要な成果説明書をもとに、監査委員による

監査を経て、9月議会で認定をいただいています。



定例課長会議 1月29日

問 縦割り行政の中で、担当以外の課による横断的な課題検討はされているか。下水道問題等を鑑み、行政運営の要である課長会議のあり方を見直す考えは。

村長 課長会議は庁内の最高協議機関という位置付けですが、下水道問題やスノーハープ活用などの重要課題に対して全庁的な認識不足を実感しました。平成24年度から定例課長会議とは別に、重要課題に対し、全庁的共通認識を持ち解決に向けて協議する場として、課題検討課長会議を開いています。縦割り行政の弊害と言われないよう見直し、職員の意識改革と組織の活性化に努めてまいります。

村長 課長会議は庁内の最高協議機関という位置付けですが、下水道問題やスノーハープ活用などの重要課題に対して全庁的な認識不足を実感しました。平成24年度から定例課長会議とは別に、重要課題に対し、全庁的共通認識を持ち解決に向けて協議する場として、課題検討課長会議を開いています。縦割り行政の弊害と言われないよう見直し、職員の意識改革と組織の活性化に努めてまいります。

【少子化の課題について】

問 村の子供数の推移は。

村長 18歳以下の人口は、平成24年1538人で、10年間で370人減少しました。厚生労働省の将来推計では、19歳までの人口は2010年の数値から844人減少

し、2035年には739人となります。

問 少子化による課題とその対策は。

村長 学校では、少人数では成り立たない運動や学習、教員の配置などの問題があり、地域では、伝統文化や地域活動の継承不安などの問題があります。保育料負担の軽減や医療費の中学生までの無料化、不妊治療に対する助成制度の創設などを実施しています。

問 少子化の進行により小学校の2校体制を続けるのか、検討を始める時期です。

村長 単式学級は、小学校1年生は35人、2年生から6年生は40人、複式学級は1年生を含むものは8人、それ以外は16人と定められています。複式学級が想定される状況が生じた時点で、統合という大きな判断をせざるを得ませんが、南小の予想入学人員は平成30年度まで17人前後で推移しますので、当面はそこまで至っていないと考えています。

下水道問題

問 監査でも解明できなかった点は

答 納得いくまで解明していく



小林 英雄 議員

【下水道受益者負担金問題について】

問

村長が監査委員に要求した内部調査報告の監査結果は、村のホームページに掲載されているが内部調査報告書は示されていない。説明会を開き、村民に丁寧に説明すべきでは。

村長

村民の行政に対する不信任感、信頼を損ねたことをお詫びします。区長連絡会で、経過を説明し、地域役員懇談会でも説明しお詫びしました。今後、村のホームページや広報はくぼ、ユーテレ白馬などで説明していきます。

結果の要約を配布することなども検討しています。

問

未解明事項の中で、時効になった負担金の徴収の有無についての調査を約束したが、進捗状況は。

建設水道課長

調定額を個々にチェックしています。時効物件の調査は事務量が多く手が回っていませんが、順次行っています。時効物件の徴収は現在9件あり、12月議会で還付金の予算補正をお願いしています。

問

監査結果では「書類が存在しない」「推測される」など、疑問点が拡大している。村長は「大変厳しい報告内容を真摯に受け止め、早期の解決と、信頼回復に努力したい」といわれたが、何も解決されていない。疑問点が解明され問題点が明らかにになれば、初めて改善・再発防止の対策を考えることができる

村長

ここで終わらせたとしてあいさつをしたわけではなく、納得のいくまで解明していくことは当たり前のことです。

問

来年度に東部農業集落排水事業は公共下水道と統合するが、負担金の扱いは。

村長

担当課で検討しています。関係者に新たな受益者負担金も含め十分な説明をし、理解をいただきたいと思っています。

問

原発事故は収束どころか1年8か月が経っても福島県内外の避難者は16万人、避難先で命を落とす人も少なくない。原発を稼働する限り核のごみが増え続ける。

【原発問題について】

即時原発ゼロの立場に立つべきだが。

村長

脱原発は支持しますが、経済面などから電力の安定供給は不可欠です。代替エネルギーへの移行が必要で、即時原発ゼロの考えには立て

ません。

問

内部被ばく対策として安定ヨウ素剤を村で用意する考えはあるか。

村長

副作用など対策も必要となり、村での用意は考えていません。



小水力発電施設建設予定地

子育て問題

問 18歳までの医療費補助の検討は

答 前向きに考え拡大を検討します



篠崎 久美子 議員

【子育て支援策について】

問 未満児保育のニーズと対応状況は。

村長 3歳未満の保育所定員は30名で、本年は50名の申込みがあり、4月当初は20名でスタートし12月からは30名を受け入れています。25年度の申込みは46名で、未満児保育のニーズは多いところです。

問 ファミリーサポートの子育て支援事業は。

村長 平成14年6月に開始された社協の独自事業で、子供の一時預かり、留守番や子守、家事援助等で、本年は

7月に7回利用された以外は月に2〜3回の利用です。

問 病児、病後保育の支援体制は。

村長 村独自の運営は困難で、受け入れ先があれば検討したいです。

問 要望の多い医療費補助対象年齢の18歳までの拡大は。

村長 拡大した場合の給付金試算結果も含め、年齢拡大については前向きに考えており、検討してまいります。

【下水道受益者負担金問題について】

問 現在の調査状況、監査要求の経過などは。

村長 臨時職員1名を採用し、平成21〜23年度の決算数値が不一致である原因を調査しています。不納欠損額の監査は8月2日に要求し、8月23日〜11月26日までに監査

が実施され、11月30日にホームページに掲載、今後、結果を抜粋したものを全戸配布し

たいと考えています。

問 結果を受けて第三者委員会及び損害賠償については。

村長 監査や議会特別委員会の結果を踏まえて

設置が必要であるとするれば、設置することを考えます。時期は年明けと考えますが、委



しろうま保育園全景

員会設置には条例整備が必要となり、専門家などをまじえた構成にします。損害賠償は、対象となるかどうかなども含め検討が必要で、近隣自治体を参考に慎重に検討したいです。

問 監査結果で書類がないことが指摘されたが、公文書管理については。

村長 庁内全般での公文書管理体制の構築、マニュアル化も考えたいと思います。

【来年度予算編成について】

問 来年度予算編成の基礎となる基本方針は。

村長 地域資源の活用と掘り起こしを行い、活力ある白馬村を目指すとし、特産品開発の推進、自然エネルギーや観光資源としての小水力発電や電気自動車対策及び奈良井やスノーハープを考え、これらの事業に予算配分し、恒久的な活力源となるよう取り組みます。

また、安心して子育てできる環境づくり、安らかな老後を過ごせる福祉社会の実現にも予算配分を目指します。

観光問題

問 地域おこしに繋がる人材教育は

答 必要な地域力の研鑽と講座を開催



太田 修 議員

【観光と人材教育について】

問 東急資本の撤退に関わる今後の方針は。

村長 東急電鉄から日本スキー場開発に譲渡されました。更なるサービスの充実や事業基盤の強化を図ると聞いています。スキー産業は、スキー場を中心に周辺宿泊施設・飲食店など多くの関連産業から構成され、村の経済の一翼を担っています。今後も観光立村白馬を目指し関係機関と連携を密に取り組みます。

問 地域おこしにつながる人材教育は。

村長 地域おこしに必要な「地域力」の研鑽を積んだ人材を誘致し、意欲ある住民やNPO法人などを対象に講座を開催し、地域力の維持と強化に取り組めます。

問 特色ある学校教育施設の維持管理は。

村長 南小の裏山スキー場、北小のジャンプ台等は、PTA運営の施設で、テレビ番組でも紹介されるなど両小学校の象徴です。多額な改修や更新費用が必要な場合には、学校やPTAと協議し財政的支援が必要と考えています。

問 県教育委員会による中学校の部活動と社会体育の線引きの内容は。

村長 事故等に対する責任の所在の適正化を図る目的です。村はスポーツ少年団や地域総合型スポーツクラブが受皿となり、連携が可能な部活動を始めています。

問 県教育委員会による中学校の部活動と社会体育の線引きの内容は。

【公共下水道受益者負担金問題について】

問 監査要求の結果と今後の方向性は。

村長 結果を真摯に受け止め、専門家を含めた第三者委員会の立ち上げ、損害賠償などを検討します。

問 債権が消滅した方への周知は。

村長 規定に基づき、特段周知する義務はないと考えます。

問 未納者の公表は。

村長 個人情報保護法などに配慮し、専門家に相談・検討します。

問 県の補助事業を活用した防災計画の内容は。

【防災対策について】

村長 人口動態、産業の変化などの社会環境に加え、消

問 県の補助事業を活用した防災計画の内容は。



系魚川・小谷村・白馬村議会議員連絡協議会

問 緊急時の協力体制と機能別消防団員制度の取り組みは。

村長 団員の4人に1人が村外勤務者と推測される中、OBの方には現役時代の知識や技術で団と自主防災組織との懸

け橋になっていただき、女性グループには地域コミュニケーションや共助の中での活躍に期待しています。消防団活動指針検討委員会を設置し、機能別消防団員の導入、災害などの対応マニュアルの作成、活動PRなど団員が活動しやすい環境づくりを始動しています。

教育問題

問 白馬高校存続の危機について

答 地域発展のためにも存続しなければ



太田 伸子 議員

【白馬高校について】

問 地域高校として村にある意味は。

村長 白馬高校は、白馬・小谷両村の組合立として設立され、その後、県立に移管され平成23年には創立60周年記念事業が行われました。また、スキー部の活躍は栄光の軌跡といわれるほど目覚ましく、地域のスキー産業の発展にも大いに寄与してまいりました。地域の子供は地域で育て、この地域に貢献できる人材を育成する。この理念に基づき、これまで大勢の素晴らしい人材を輩出してまいりました。



白馬高等学校

した。地域の人々の熱い信念のもとに、地域高校として地域発展のためにも大きな意義があり、特色を生かし地域に

根ざした白馬高校として存続していかなければならないと考えています。

問 キャンパス化（分校化）の危機は。

村長 県教育委員会の高等学校改革プランの再編基準では、全校生徒が160名以下で、かつ、卒業生の半数以上が当該高校へ入学している中学校がない状態が2年連続した場合、地域キャンパス化、他校との統合、募集停止のいずれかとするとなっています。現在、白馬高校は162名であり、平成25年度には60名を迎え入れないと160名を割る状況であり、生徒数確保が大きな課題です。

【スノーハープについて】

問 土壌調査の結果は。

村長 盛土材の一部に浸透機能と集水機能が低い層があり、表面より地下への浸透水を阻害している可能性が高いと結論づけられます。メイン会場の南北の高低差をフラットにするためには多大な費用と時間がかかるため、機能を優先した改修計画を検討しています。

【村活性化について】

問 白馬の夏祭りの場所の変更の予定は。

村長 夏祭り実行委員会の検討の結果、現在の所で行うとの結論に至った経緯があり、会場変更の予定はありません。

問 実行委員会の構成は。

観光農政課長 深空地区とみそら野地区の当役の皆さまです。

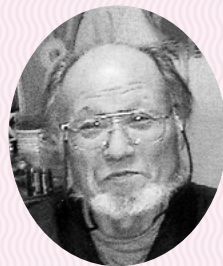
問 開催時間の変更と子供たちが楽しめるような企画は。

村長 自然体験村が午後5時まで開催しているため、準備の関係で午後6時からとなります。子供たちに人気のあるお店をお願いしています。工夫の余地はあと思っていますので、良いアイデアがあればお聞かせください。

問 来年度、リフォーム補助制度の予定は。

村長 現在、予算のヒアリングの最中で前向きに検討しています。

私の思い出



八方口 山里 寿男

忘れさったもの

1970年4月のこと、その頃、わたしはヒマラヤへ出て、折からエベレスト登山隊や、三浦雄一郎さんが滑るスキー隊のいる5350メートルのBC（ベースキャンプ）を訪ねていた。3月からそれまで他の方面に出かけていて、ネパール国内では未だ充分に栄養のある食料のなかった時代だったせいか、ここで旨いご馳走にありつけ、元気を回復した。

そういう訳で、その帰りの足取りは軽く、ルクラへもどった。そこでカトマンズへ帰る飛行機を待ったのだが、一向に飛んで来ない。2日経ち、3日経った。そのうち沢山

のフライト待ちの人々が集まる。この分では「俺が先だ」と喧嘩になりかねない。そんな訳で、歩いて帰ろうと決心した。人呼んで「エベレスト街道」・古典街道、飛べば50分、歩けば1週間。さっそく2人の若いシェルパを雇い出発した。

その日はパイアンという土地の岩穴を探し出し、その中にテントを張った。その後、彼らはどこからか枯れ木を拾って来て、それに火を付けた。ところが、勢いはぐんぐん上がったのに反比例して、いつの間にか空は暗くなり、雨と霰がどっと降って来た。それまで気がつかなかった岩穴のすき間から、水滴が滝のように流れ落ちて来て、折角の焚火はいっぺんに消えてしまう。と、見る間に、1人のシェルパが、その中の太い1本の、まだ火のついていない方を手に持ち、先端のまだ燻っている部分を胸の下に入れ、そこに息を吹きかけ、何とか消すまいと努力し始めた。彼の身体は、

さっきからの水滴をいっしんに受け止めている。「もういいよ、あとで火をつけられればいいんだ」と、わたしは言うが、聞こうとはしない。ものの1時間も降ったであろうか、雨と霰は去って行った。気温は零度をさしていた。

彼の手に握られた小さな火は、2人の吹く息で次第に大きくなって行き、ついに又もとの状態にもどった。わたしは、その燃え盛る火で身体を暖め、彼らの作ってくれた食事をとったのだが、いつの間にか涙が茶わんに落ち始めていた。

火に対する敬虔な想い、ものに対しての貴重な想い。彼らのとった態度の中に、わたしたちがとくに忘れ去ったものが、沢山置されているように思われ、今更のように、自分たちの生活の甘さを思い知らされたのだった。

生きることの根源となるもの……こんな大切なものを、わざわざヒマラヤに来てみなければ、身に沁みて感じられない自分の浅薄さに気づいたが、言い知れぬ感動に、その夜なかなか寝つかれなかった。

追跡レポート

こないだ聴いたことあり
どうなったただやあー

平成24年第3回定例会（平成24年9月）一般質問

【下水道関係について】

問 受益者間の公平性と住民説明会は。

答 法律の専門家に相談し検討します。また

【下水道負担金時効について】

問 コンプライアンス体制と今後の取り組みは。

答 専門家による職員研修を行い、組織の見直しを進めます。

区長会、地域役員懇談会や広報誌、ユーテレ白馬等、地区での車座集会等も検討しています。

後その コンプライアンス研修を実施しました。また組織の見直しも検討しています。

後その 検討中です。また区長会、地域役員懇談会や広報誌で説明し、監査結果の圧縮版を新聞折り込みで村内に配りました。

こうなっただけいね

議会だより102号の訂正とお詫び

(1) 9ページ「陳情等文章」中、長野県教職員組合大北支部白馬単組の審査結果が「継続審査」とありますが、正しくは「採択」です。

(2) 17ページ「わたしのひとこと」中、「鎌倉宏志」とありますが、正しくは「鎌倉宏」様です。

ここに訂正し、お詫び申し上げます。

夢、私たちに。 わたしのひとこと



還暦を迎えて

嶺方 横澤 哲朗

「巳」は再生の象徴だそうです。長く低迷する日本経済が、再登板した自民党政権によって再生する年となるように、願わずにいられません。また村政を担う皆様の奮闘に期待します。

さて、私は昭和28年生まれで、今年還暦を迎えます。しかし、勤め人には還暦はゴールではなく、第二の人生のスタートです。自営の方からは、「何を悠長なことを言ってるんだ。」とぐざられそうですが、

今までの私は、日本経済の成長とともにあって、経済的に恵まれた世代だと思っています。取り立ててひどい苦労をしたわけではないが、それなりでやれやれという気がします。

今年一年は、全力疾走するのではなくて、他人の生き方を参考に、ゆっくり次のステップを考えればよいのではないかな。近いうちには、部落の役が回ってくるので、しっかりと地域貢献したいと思っています。



白馬に来て感じたこと

通 加藤 周

私は、岐阜県高山市の出身ですが、昨年4月に中部電力㈱に入社し、白馬村内の事業所に配属となりました。初めて白馬村を訪れたときは、もう4月だというのに雪があちこちに残っており、大変驚くとともに、この地がウィンタースポーツのメッカであることを実感しました。

社会人となり、企業活動を進める上で地域の皆さまとの交流が重要であると考えていたところ、今年度は春のお花見、夏の村民運動会、秋のお祭りや地域行事に参加させていただき、地元の方々との交流を持てたことを大変嬉しく思っています。山や川など豊かな自然に溢れ、ここまで地域の皆さまに温かく迎えられて、一緒にイベントを楽しませていただける地域はなかなかないものと思います。白馬で勤務できることにとても感謝しています。

今後も皆さんとのふれあいを大切にしながら、白馬村の良いところをドンドン見つけていきたいと思っています。



北海道からの手紙

沢渡 篠崎 美奈子

私は白馬に嫁いで今年で20年、2人の子供を育てています。子供たちは小学校からクロスカントリースキーを始め、大学生と高校生になった今でも競技を続けています。

ここ数年、12月になると北海道から手紙が届きます。それは北海道でスキー合宿中の子供たちからの手紙です。合宿中の近況報告と、スキーを続けていることへの感謝の言葉が書いてあります。いつもはメールでのやりとりをしていますが、手紙が届いたときは一文字一文字どんな気持ちで書いたのか…。それを考えるとなんだか感動し、子供たちを支えるサポーターとして、家族みんなで応援をしていかなくてはと感じました。

競技を続けていくことは厳しくつらいときもあると思いますが、それを乗り越えて大きく成長して行ってほしいと願っています。

編集後記

河津町と姉妹提携を結んで30周年を迎えた。先日、河津東小と白馬南小との交流会で、マンツーマンで指導に取り組む子供たちの姿を五竜スキー場を見た。初めてスキーをする子供たちには、これほど面倒なスポーツはないかもしれない。しかし「早く滑れるようになりたい」、「なってるほしい」その気持ちが相通じた場合、上達は早い。倒れて動けない子を、どう立たせようかと必死になって取り組んでいる姿勢は、感動さえ覚える。一日で、ほとんどの子がどうにか滑れるようになるという。2月には村民100人が河津町を表敬訪問する予定である。

(田中 榮一)

議会報調査編集特別委員会

議長	下川 正剛
委員長	太田 修
副委員長	柏原 良章
委員	篠崎久美子
委員	太田 伸子
委員	田中 榮一
委員	小林 英雄
委員	松沢 貞一